

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県緑が丘スポーツ公園
 所管課 スポーツ振興局 スポーツ振興課
 指定管理者 公益財団法人山梨県スポーツ協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					委託料総額 (単位:円)
指定管理者名	出資 法人	指定期間				
財団法人山梨県体育協会	○	H18.4.1	～	H23.3.31	5年	366,388,000
公益財団法人山梨県体育協会 (H24.3.31まで財団法人)	○	H23.4.1	～	H28.3.31	5年	370,957,000
公益財団法人山梨県スポーツ協会 (H31.4.1山梨県体育協会から名称変更)	○	H28.4.1	～	R3.3.31	5年	377,197,958
公益財団法人山梨県スポーツ協会	○	R3.4.1	～	R7.3.31	4年	301,843,327

2 施設の概要

所在地	甲府市緑が丘2-8-2
設置年月日	昭和39年5月1日
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例
設置目的	都市の緑の中核として、活力ある長寿・福祉社会の形成、都市のうらおい創出に資するとともに、自然とのふれあい、コミュニティの形成、広域レクリエーション活動等県民の多様なニーズに対応するため。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 約 58,197 m ² ○施設の内容 ・体育館【大体育館:1階可動席720席、2階固定席1,068席、小体育館、弓道場(近的28m10人立)、柔道場・剣道場(16.8m×17.9m×2面)】 ・スポーツ会館(屋内プール25m×15m、宿泊施設定員:100人) ・洋弓場(20m、90m) ・その他(駐車場、緑地、トイレなど)
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	94,897,542	95,614,312	93,358,454	91,702,206	91,172,417	
支出合計	93,938,100	91,571,010	90,346,943	89,719,332	90,249,469	
収支差額	959,442	4,043,302	3,011,511	1,982,874	922,948	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	181,741人	185,331人	137,359人	90,280人	108,356人	利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

基本協定書や業務計画書等に基づき、スポーツ施設としての機能が十分に発揮されるよう、コスト意識を持ちつつ、最善の保守管理を行った。

利用者数については、新型コロナウイルス感染症収束を見込んで設定した目標の158,000人に対して、実績が108,356人であり、達成率は68.6%と目標達成には至らなかった。

この要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設利用休止や利用者の自粛などが影響したものと考えられる。

このような状況下においても、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、一般利用向けにホームページ等での情報提供を積極的に行い、利用促進に努めた。

また、老朽化した施設や設備に対して、合計23件の修繕を行い、利用に支障が出ないよう施設の保守管理業務に努めた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

業務計画書に基づき、適正に業務が実施されており、総合的な利用者満足度も高い評価を得ている。引き続き、一層の経費削減と利用者の確保に努めていただきたい。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設利用休止期間には、必要な修繕を実施することと施設をいつでも開館できるよう準備しておくことを指導した。

開館後については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのガイドラインに基づき、消毒や検温などの感染予防対策を徹底した運営を行うよう指導した。

光熱水費や燃料費の高騰等の外的要因により、年間支出額が前年度よりも増加となってしまったが、運営経費の見直しにより、できる限りの経費削減に努めるよう指導した。

体育館や屋内プール等については、前年度と比較し利用促進が図られた結果となった。

一方、洋弓場は高校部活動の利用休止期間が5か月に及んだことで、前年度よりも利用率が下がる結果となった。

引き続き、感染症対策を万全にし、利用者が安心安全に利用できるよう指導するとともに、利用率及び利用者数の増加を図るため、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、積極的に広報活動を行うよう指導した。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休館期間を有効的に活用し、小規模修繕を積極的に実施し、施設や設備の維持管理に努めている。

また、利用者が円滑に利用できるよう、開館前の施設の清掃や利用者からの問い合わせに丁寧に対応するなど適切に運営している。

開館後についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのガイドラインに従って、利用者が安心して利用できるように、こまめに施設内を消毒するなどの運営管理を行った。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県緑が丘スポーツ公園
 所管課 スポーツ振興局 スポーツ振興課
 指定管理者 公益財団法人山梨県スポーツ協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	利用者数	181,741	185,331	137,359	90,280	108,356
	利用者数合計	181,741	185,331	137,359	90,280	108,356
	目標値	187,000	187,000	187,000	150,000	158,000
	実績/目標割合	97.2%	99.1%	73.5%	60.2%	68.6%
目標値の設定方法	平成29年度～令和3年度:現状の利用状況を勘案して設定。					
利用率	稼働率等(利用率)(体育館)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	稼働率等(利用率)(屋内プール)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	稼働率等(利用率)(弓道場)	73.0%	83.1%	69.4%	70.3%	72.0%
	稼働率等(利用率)(洋弓場)	92.0%	93.8%	92.6%	92.0%	88.9%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用日数/営業日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	(1)小瀬スポーツ公園 (2)富士北麓公園 (3)県立青少年センター
----------	--

3 補修工事等の状況(令和3年度)

(単位:円)

県	体育館屋内受変電設備改修工事	33,492,800
県	スポーツ会館屋上防水改修工事 外2件	55,795,586
管	スポーツ会館男子シャワー室天井張り替え工事	199,430
管	体育館ホール照明器具取替修繕	198,000
管	スポーツ会館男子シャワー室電気設備修繕 外20件	1,826,473

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
3	公募	売上額の20%	397,634	
5	公募	売上額の20~23%	618,088	
2	公募	売上額の15~25%	159,295	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>法定点検やその他施設・設備の維持管理方法のマニュアルを徹底するとともに職員が日々、体育館の床面や備品の劣化状況などをチェックし、利用者に安心して利用していただけるよう点検を行った。</p> <p>屋外施設や自由広場等については、職員による定期的な巡回を実施し、危険箇所が無いかなどの確認を行った。</p>	<p>施設の維持管理については、事業報告書並びに現地確認の結果、適正に執行されている。</p> <p>引き続き、利用者が安心・安全に利用できるように維持管理に努めること。</p>
運営業務	<p>施設の利用率向上に向け、施設の空き情報をWEBで確認できるよう速やかにHPに掲載した。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ガイドラインに基づき、利用者が安心して利用できるよう運営を行った。</p> <p>また、利用頻度の少ないスポーツ会館の会議室に、利用者の意見を踏まえ、大型の鏡を設置し、ダンスの利用客を増やすことができた。</p>	<p>WEBに施設の空き情報を速やかに掲載することで、一般の方が施設を利用しやすい環境づくりができています。</p> <p>また、ガイドラインに基づき、検温や消毒、人数制限を行い、感染予防に努めた運営ができています。</p> <p>引き続き、感染防止対策を十分に行い、利用状況を的確に把握し、利用者が安心して利用できる運営に努めること。</p> <p>また、利用頻度の少ない会議室に大型の鏡を設置し、利用サービス向上に積極的に取り組んだことは評価できる。</p>
利用状況	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限や利用自粛などがあったが、利用者数は前年度比で20%増であった。</p> <p>また、一般利用については、予約キャンセルが発生した場合に、利用者に電話、窓口等で空き情報の提供を行ったことや、ホームページでは施設最新情報を随時更新するなど、積極的かつ効果的な利用促進に努めた。</p> <p>今後も利用者に安心して施設を利用していただくため、引き続き感染防止対策を徹底し運営に努めたい。</p>	<p>利用者数の目標値には届かなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響もある中、利用者に迅速な情報提供に努めたことで利用者数が前年度比20%増となったことは評価できる。</p> <p>引き続き、利用者サービスの向上や広報活動に努めること。</p>
収支状況	<p>収入については、新型コロナウイルスの影響による利用制限や利用自粛等があったが、利用料収入は前年比で約17%増であった。</p> <p>支出については、施設の利用状況を把握しながら光熱水費や燃料費を節約してきたが、電気料や重油代が値上がりし削減することができなかった。</p>	<p>新型コロナウイルスによる影響もある中、館内の消毒や、検温等の感染症対策を徹底し、利用客が前年度よりも増加したことは評価できる。</p> <p>支出面においては、引き続き経費削減に努めること。</p>
自主事業	<p>子供を対象とした水泳教室の参加者数は概ね安定しているが、新体操教室は少人数の開催となっている。</p> <p>また、一般成人を対象としたヨガ教室については横ばいであるが、同様に少人数での開催となっており、今後、各教室の内容等について、提携先と検討を進めるとともに、広報等にも工夫を凝らし利用促進につなげていきたい。</p>	<p>利用者のニーズ、要望にあった教室の開催を検討するとともに、広報活動にも工夫を凝らし、参加者が増加するよう利用促進を図ること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

<p>利用者満足度</p>	<p>利用者アンケートから、施設全般の満足度では98%の利用者から「満足」「どちらかといえば満足」との評価を得ている。 特にスタッフの対応については、「満足」「どちらかといえば満足」が99%であり、高い評価をいただいた。 引き続き、親切丁寧な対応と利用者には喜ばれる環境整備に努めていく。</p>	<p>適切な施設の維持管理と丁寧な接客を行っていることから、利用者から高い評価を得ているものといえる。 引き続き、利用者が快適に利用できるよう、サービスの向上に努めること。</p>
---------------	--	--

8 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>利用促進業務(体育館、柔剣道場、弓道場)</p>	<p>体育館、柔剣道場、弓道場の利用促進を図るため、稼働率を評価指標とし、目標値を令和2年度実績値である72%に設定。 利用の少ない弓道場で「なぎなた」の利用をしてもらおう等、施設の有効活用化を図った結果、年間稼働率は73%となり、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>弓道場について、更なる年間稼働率の増加を図るため、様々な競技実施の可能性を検討し、利用促進に努める。</p>
<p>利用促進業務(洋弓場)</p>	<p>洋弓場の利用促進を図るため、稼働率を評価指標とし、目標値を令和2年度実績値である70%に設定。 空き状況をWEBで確認できるよう速やかにHP上に掲載し、利用しやすい環境づくりをしたものの、稼働率は50%となり、実績が目標を下回る結果となった。</p>	<p>実績が目標値を下回った要因として、新型コロナウイルス感染症の影響により、高校部活動の強化練習が前年度に比べ、3か月休止期間が長かったことが大きい。 県内外の多くの方に利用してもらえるよう、工夫を凝らし、利用促進に努める。</p>
<p>利用促進業務(屋内プール)</p>	<p>屋内プールの利用促進を図るため、利用人数を評価指標とし、目標値を令和2年度実績値である19,656人に設定。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのガイドラインに基づき、利用者が安心安全に利用できる環境づくりを行った結果、利用人数は前年度比10%増となり、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>現状の利用状況に満足せず、引き続き利用促進に努めるよう指導する。 更なる年間利用人数の増加を図るため、広報活動等に工夫を凝らすとともに、民間業者と協力し、参加したくなる水泳教室開催を目指す。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在

